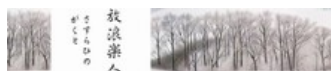


No. 077 2023/06/17

「ふりむかないで」から始まる、ご当地ソングヒットパレードへ ようこそ 第2弾
～名古屋～



樂平方自育
乎亦來遠

一握の知力



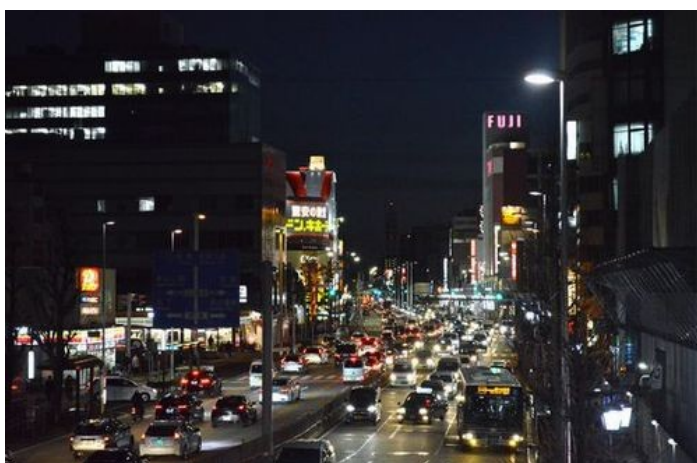
1週間のご無沙汰でした。

「歌は世につれ 世は歌につれ」とか「歌は3分間のドラマ」とか申します。
本日は先週に引き続き「ご当地ソングヒットパレード2」をお届けいたします。
司会は、わたくし物置 狭（ものおき せまし）でお送りいたします。

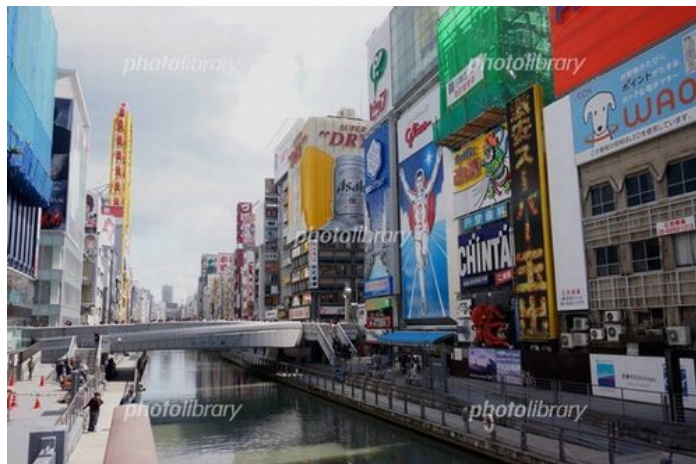
まずは、1972年のヒットナンバー、ハニー・ナイツ「ふりむかないで」先週とは違うニューバージョン映像でどうぞ。

[ハニー・ナイツ「ふりむかないで」ニューバージョン → You Tube](#)

4 雨の今池小さなスナック
一人ぼんやりしているあなた
ほろり涙がまつげにたまる
抱きしめたいな名古屋の人



5 今にも空が泣き出しそうな
道頓堀の 橋のたもとで
何を思案のこいさん一人
声かけたいな 大阪の人



6 泣いているのか笑っているのか
那珂川ばたにたたずむあなた
ついてゆきたいあなたのあとを
ふりむかないで博多の人



4 名古屋

名古屋弁で真っ先に浮かぶのは「えびふりゃー（エビフライ）」だが、名古屋の人は実際そうは言わないらしい。

名古屋弁で一世を風靡したのは「オリエンタルスナックカレー（1969年）」

南利明のハヤシもあるでヨ → You Tube

1969年のこのテレビCM。名古屋育ちの俳優南利明（1995年70才没）の「ウハウハ」「ハヤシもあるでよ」は全国の子ども達が学校で真似する流行語になった。



名古屋に行くことがあれば、ぜひ織田信長ゆかりの3城を訪ねてほしい。

那古野城(なごやじょう 名古屋市)

信長が20才頃まで生活していたが、その後廃城となる。

江戸時代になり徳川家康がこの地に注目し、新たに築いたのが**名古屋城**。名古屋城の規模は那古野城よりはるかに大きなもので、那古野城址を示すものは、名古屋城二ノ丸の城址碑のみとなっている。

信長と家康の不思議な因縁を改めて偲ばせてくれる場所だ。



清須城 (きよすじょう 愛知県清須市)

信長が清州城へ移ったのは1555年。この間の織田信長は織田家の内紛を鎮め、尾張国を統一し、さらに1560年の桶狭間の戦いでは今川義元を討ち果たしている。信長は飛躍の第一段階を清州城で過ごしているため、**信長**の出世城とも言われる。



現在の清州城は鉄筋コンクリート造りで建設されたものであり、これは想像で造られたもので往時の姿を示すものではない。

三谷幸喜監督作品、映画「清須会議」に登場する清州城と復元された清州城はどこか違うと私は感じていたのだが、映画のロケ地は長野県松代だったと知り納得した。



小牧城 (こまきじょう 愛知県小牧市)

小牧山は標高86mの小高い山で周囲が見渡せる。

信長が清州城から小牧山城へ移ったのが1563年の頃。信長が初めて造った城だ。

築城の目的ははっきりしていて、隣国美濃国を攻略するための足掛かりとするためだった。結果的に信長が小牧山城を居城にしたのはたった4年間。

美濃国を手中にした信長は居城を岐阜城に移したため、小牧山城は役割を終え廃城となった。

現在、小牧城は、鉄筋コンクリート造り、3層4階建てで、高さは19.3m。館内では、江戸時代の甲冑と小刀、小牧城城下町・小牧山城の発掘調査で出土した茶碗や皿など出土品、古文書を展示している。

4階の展望室は標高100m（高さ約14m）の位置にあり、鈴鹿や御岳などの峰々や濃尾平野を一望することができる。桜の名所としても有名で、夜間にはライトアップが行なわれている。



さて、名古屋のご当地ソングといえば、もうこれしかない1974年の大ヒット曲。これ以降毎年新しいバージョンが作られている。



歌った人は元プロ野球のエース、元高校球児で夏の甲子園準優勝投手。口癖は「あのな、僕の夏の甲子園での奪三振記録、まだ破られてへんねんで。」そう板東英二だ。

王・長嶋が健在の川上巨人V10を阻止すべきと、中日ドラゴンズファンだけでなく全国のアンチ巨人ファンが大合唱し、ドラゴンズが優勝した日は涙したというあの名曲だ。

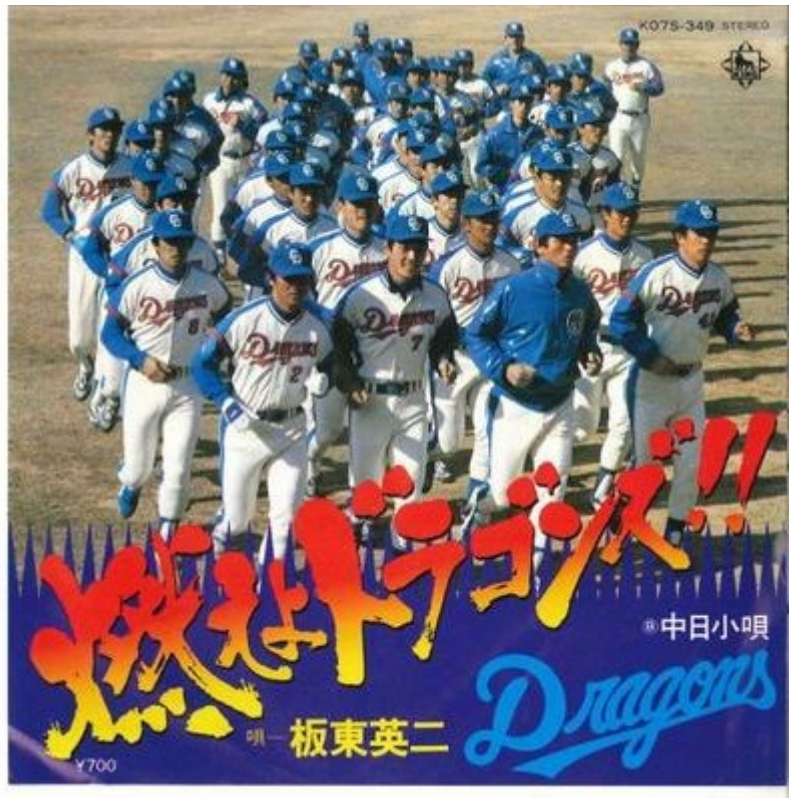
当時巨人ファンだった私もこの曲が大好きで、何より歌いやすい。カラオケで歌うととにかく場が盛り上がった。

この年大ヒットしたブルースリーの映画にちなんでタイトルもズバリ「燃えよドラゴンズ」

作詞作曲：山本正之

【注意】 イントロを聞いて「月光仮面は誰でしょう」だと思わないように(笑)

板東英二 燃えよドラゴンズ → You Tube



読者のみなさんからのレビュー（感想） 第76話

「ふりむかないで」から始まる、ご当地ソングヒットパレードへ ようこそ 第1弾 ～東京 札幌 仙台～

やっぱり今までと構成のパターンが違う。玉置宏にハニー・ナイツと、何が飛び出してくるか想像がつかない面白さがあります。「ふりむかないで」で使っておられる写真はとてもお洒落で少し色っぽいです。気に入ってます。

東京も札幌も仙台も放浪しているのですね。実際に行ってそこで見たこと感じたことを書いておられるので文章に説得力があります。ニュー放浪楽人、本当にこれから楽しみです。

(中年ジェットさん 60才代男性)

放浪楽人さん、記憶力すごいですね。ピーナッツの「東京の女」は知らない曲ですわ。

(プルメリアさん 70才代女性)

【レビューのレビュー】

東京の女は、沢田研二作曲で、ピーナッツのお姉さんと結婚するきっかけになった知る人ぞ知る曲です。

「人生を豊かに過ごすために」で始まって、76話までテーマが幅広く、本当に心豊かに楽しんでおられますねえ。

スマホで76話を読後、PCで加藤剛さんのテーマに目がとまって1話と14話楽しませていただきました。

また、楽しませていただきます。

(まるたりさん 60才代男性 レビュー初登場 優しいお人柄、柔らかい発想。勉強になります)

先日の大雨の中を村田さんのコンサートに行かれたんですね。

村田隆子さんのコンサートは楽しかったことでしょう。

私は雨の日は一步も家を出たくないです。

電車に乗っていてもただ乗っているだけでなく、色々と観察をしながらの姿勢に感心します。電車の中からいろいろ見ている放浪楽人さんの姿を想像しています。

私は甲子園球場には何回も行きました。

東京、札幌、仙台いいですね。

夫が元気な時に旅行に行っておいて良かったと思っています。

札幌の時計台、おっしゃるとおりです。

雪祭りに行ったのでテレビ塔には登っていません。残念です。

仙台の七夕祭り良かったです。

海外へは行った事はないですが、国内は大体回りました。

この話で夫と二人なつかしく思い出しています。

(みーちゃん 70才代女性)